

～高校生から聞いた話～

広めていこう！ 北方領土新聞

佐賀県
北茂安中学校

《高校生からのお話》

私たちは、現在根室市に住んでいる高校生の岡野真鈴さんから、北方領土のことについてくわしく教えていただきました。私の知らない環境問題や、現在、取り組んでいることなどをよく知ることができました。

私が特に気になったのが、環境問題です。油のうく川や、ゴミや川の散乱が問題になっているそうです。返還運動もとても大切だけれど、環境問題を考えたいこともとても大切だと思いました。

《返還運動》

左の写真1のように、いろいろな場所で返還活動が行われています。実際に岡野さんも、「署名活動を頑張っている」と言われてありました。他にも北方領土に対しての演説などをし、より多くの人に北方領土問題について、知ってもらうようにしています。

(写真1)



(写真2)



北方領土問題の経緯



1885年 日露通好条約

この条約で両国の国境は、択捉島とウルップ島の間に決められ、択捉島、国後島、色丹島、歯舞群島は日本の領土とし、ウルップ島から北の千島列島はロシア領とされました。



1875年 樺太千島交換条約

この条約では、日本に譲渡される千島列島の島名を一つ一つあげていますが、列挙されている島は、ウルップ島より以北の18の島で、択捉島、国後島、色丹島、歯舞群島の北方領土に含まれていません。



1905年 ポーツマス条約

1905年、日露戦争の結果、北緯50度以南の南樺太が日本の領土となりました。

2月7日

北方領土の日



1951年 サンフランシスコ平和条約

1951年、日本は、千島列島と南樺太の権利、権原及び請求権を放棄しました。しかし、放棄した千島列島には択捉島、国後島、色丹島、歯舞群島の北方領土は含まれていません。なお、この条約では放棄した地域が最終的にどこに帰属するかについては、なにも定められていません。

感想

研修を通して

私は、正直北方領土のことをあまり知りませんでした。だから、この研修で実際に見たり聞いたりして、たくさん情報を知ることができたので、それを私たちが広めていきたくさんの人たちに北方領土問題について、知ってもらいたいです。情報発信者として、元島民の人の思いや、現在の北方領土問題などを伝えていき、下でも多くのの人に知ってもらいたいです。



交流している様子



《四島に住むロシア人との交流》
返還運動以外にも、ロシア人との交流もしています。環境整備を目的として、北方四島在住ロシア人との相互理解を促進するために実施しています。一九九二年から、旗券(パスポート)・査証(ビザ)なしの北方四島交流事業が始まりました。